

# 美術科学習指導案

平成18年11月21日(火)第5校時  
第3学年3組 指導者 小森昌弘

## 1 題材名 交流から生まれる鑑賞 ―見る・考える・話す・聞く―

### 2 題材の目標

- (1) 様々な美術作品に触れ、味わい、鑑賞の楽しみ方を身に付けることで、鑑賞活動を愛好し心豊かに生活していく態度を身に付けようとする。(美術への関心・意欲・態度)
- (2) 自分の見方や感じ方に基づいて、美術作品などを想像力を働かせて見ることで感動や印象を受けたり、よさや美しさや創造の楽しさを味わったりして鑑賞する喜びを味わうことができる。(鑑賞の能力)

### 3 題材について

#### (1) 教材観

本題材は、中学校学習指導要領第2章第6節美術、第2学年及び第3学年B鑑賞ア「作者の心情や意図と創造的な表現の工夫などを理解し見方を深め、作品に対する自分の価値意識を持って批評し合い、よさや美しさを幅広く味わうこと。」に基づいて設定したものである。

今回は、アメリカ・アレナスの主張する対話型鑑賞法を取り入れた。鑑賞する作品については、複製画やスライドでも十分なのだが、今回は本物の作品を提示することで意欲喚起につなげたい。これらの作品は、地元出身の美術教師や若手作家が二十代前半に制作したもので、中学生にとっては近未来的視点で想像力をかき立てられるものであり、教師側から作品や作者についての解説は一切行わない。常識を取り除き、生徒自身が自分の目であるがままに見てみることに。そこに本当の創造がある。また、生徒が自由であるということは、作品に対する自分の価値意識を持って、自分の考えをしっかりと築くこと。自分と同じ意見も違う意見も含めて、友達の意見や思いも尊重し静かに耳を傾け、さらに考えを深めていくことである。そして、中学生は自分も輝きたい、認めてもらいたいという願いを持っており、自分の意見を積極的に挙手して発表し、自分の意思表示がきちんとできるようにさせたい。これらの鑑賞活動を愛好することは、生活を心豊かにする態度を身に付けさせることを目指している。

#### (2) 生徒の実態

基本的には明るく元気で子供らしい生徒が多い。表現の授業では、熱心に作品制作に取り組むことができる。鑑賞については、今までは生徒が自分の作品制作の参考に、友達同士お互いの作品を鑑賞し合う作品鑑賞会が中心で、独立した鑑賞の授業経験は少ない。日常の学校生活の中で随時鑑賞に親しむことができるように、廊下やホールを中心に学校ギャラリー(ひがし野ギャラリー)を設け、多様な作品を展示しているが、授業以外に自ら美術館へ行って作家の作品を鑑賞したことがある生徒はわずかである。

#### (3) 指導観

今回の対話型鑑賞法は、「美術の教育」というより「美術による教育」という視点が大きい。まずは、ワークシート(鑑賞カード・自己評価表)を使って学習目標(=評価の観点)を明確にし目的意識を持って授業に臨ませる。また、この題材は生徒とのコミュニケーションがとても大切である。導入では教師の体験談などを交えたり、生徒を作品の近くに集め、座談会形式の授業形態を取ることで、後で生徒が積極的に発表しやすい雰囲気を作る。それでも中学生の時期は自我が芽生え挙手して発表するのを恥ずかしがるのが予想される。評価の観点からも、多少時間がかかっても指名して全員に発表の機会を与え、生徒から出された意見は、全て肯定的に受け止める。他者に認められることで創造活動の喜びや充実感を強く感じ、生徒一人一人が自己有用感など基礎的能力を確実に身に付けられるように指導する。

### 4 人権教育との関連

作品を鑑賞して、自分なりの感じ方や考えを持ちそれをまとめることは、「育てたい能力・態度」の中の「判断力」の育成につながるものと考え。また、友達の意見にもしっかりと耳を傾け、それをお互いに認め合い、尊重することは、「感受性」につながるものと考え。

## 5 研究主題との関連

今年度の研究主題は「生活に生きる美術教育の創造」である。昨今話題のキャリア教育という視点から考えると、デザインの分野におけるファッションデザインやインテリアデザインなど商業的なものや、今や日本の一大輸出産業でもあるマンガやアニメーションの授業も考えられる。

しかし、美術教育に限らず、他教科でも多くの教育実践が受験の影におびえて、あまりに性急に成果を求めすぎた。その結果、教育環境の整備、教師の指導力の開発にもかかわらず、生徒の思考力、表現力、判断力の著しい低下を招き、果ては差別やいじめによる生徒の自殺などというニュースが新聞やテレビを賑わすようになった一因と言ったら言い過ぎだろうか。そんな中、美術教育が果たすべき役割があるはずである。

今回の鑑賞活動は、作家や作品の解説に頼って見るのではなく、自分の見方や感じ方を大切に、常に新鮮な気持ちで作品に出会うことが、生涯にわたって美術を愛好する心情や豊かな情操を育てることにつながると思いたい。また、友達の意見を聞くことによって、新たに感じるところやさまざまな考え方があることに気づき、見方を共有することができる。さらに、教師が生徒とのコミュニケーションをしっかりととり、トークの雰囲気を盛り上げていけるように進めていくことで研究主題との関連を深めたい。

## 6 題材の指導計画と評価計画（2時間扱い）

時	ねらい	主な学習活動	指導上の留意点	評価の重点			評価規準		
				関	発	技	鑑	おおむね満足できる状況(評価方法)	十分満足できる状況の例
1 本 時	・自分なりの感じ方や考えを持ち、まとめることができる。 ・自分の意見を積極的に発表し、友達の意見をよく聞くことができる。	・1枚の作品を鑑賞し、第一印象をカードにまとめる。 ・座談会形式で第一印象を発表する。	・第一印象が思いつかない生徒に対しては、作品を見て分かったこと(形や色)についてまとめるようにアドバイスする。 ・生徒から出された意見は、全て肯定的に受け止める。	①			①	・作品を鑑賞し、分かったことをまとめることができる。 (鑑賞カード分析) ・自分の意見を発表することができる。 (観察・ビデオ分析)	・作品を鑑賞し、感じたことや思ったことを具体的にまとめる。 ・自ら挙手して、自分なりに感じたことや思ったことを聞きやすく発表する。
2	・気に入った作品を選び友達同士でフリートークを行うことができる。 ・フリートークで深めた考えをまとめることができる。	・4枚の作品を鑑賞し、自分で気に入った作品を1枚選び、フリートークを行う。 ・感じたことや分かったことをカードにまとめる。	・作品ごとに司会進行役の生徒を決めさせ、トークがスムーズに進められるようにアドバイスする。 ・作者の本当の気持ちと違っていても良いので自分なりに考えたことをまとめさせる。	②			②	・気に入った作品について、感想を述べ合うことができる。 (観察・ビデオ分析) ・自分の感想をまとめることができる。 (鑑賞カード分析)	・友達の意見も参考に、さらに考えを深めることができる。 ・深めた考えをまとめると共に、作者の気持ちを想像することができる。

## 7 本時の指導

(1) 題材名 交流から生まれる鑑賞 ー見る・考える・話す・聞くー①

(2) 目標

ア 真剣な態度で作品を鑑賞すると共に、自分の意見を積極的に発表したり、友達の意見をきちんと聞くことができる。(美術への関心・意欲・態度)

イ 作品を鑑賞し、自分なりの感じ方や考えを持ち、まとめることができる。(鑑賞の能力)

(3) 研究主題にかかわる授業の視点

今年度の研究主題は「生活に生きる美術教育の創造」である。今回の対話型鑑賞法は、主体的に鑑賞に取り組む姿勢と方法を学ぶことを目的としている。すなわち、独自性を尊重しつつ、他者とのかかわりの中でさらに自己の成長を目指す生き方ができるようにすることや、自身の感性や創造力を積極的に生かし、日々の生活を充実していくことの大切さを学ぶ。

特に、第3学年の学習は中学校3年間の学習の総仕上げであり、高等学校芸術科・美術、工芸の学習への発展を考えるとともに、また、中学校の段階で造形美術の学習を終了する生徒も多数いることから、これからの社会で生き抜くために必要な造形美術に関するさまざまな能力や知識を身につけさせるという視点が重要である。

(4) 人権教育の視点

意見発表の際は、全ての生徒に、全て自分の言葉で発表させることで、「育てたい能力・態度」の中の「実践力」を身に付けさせたい。また、生徒から出された意見は、全て肯定的に受け止めることで「感受性」を育てたい。

(5) 生かしたい生徒

A：表現の授業では、技能的に苦手意識を持っているが、恥ずかしがらずに自分の考えをたくさん表現することができる。今回の鑑賞の授業は、自分なりの感じ方や考え方で作品を見て良いということで、出された意見は、全て肯定的に受け止め自己有効感を味わえるようにするとともに、他の生徒への意欲付けを図りたい。

B：独自の感性で作品を捉えることができるが、人前で自分の意見を発表することが苦手である。今回は意図的に指名し、その独特な視点を学級全体で共有させたい。

(6) 展開 (別紙)

(7) 教師の発問と予想される生徒の反応

①第一印象 (自分なりに感じたこと・思ったこと・分かったことは?)	②深めた考え (なぜそう思ったの?・どこを見てそう思ったの?)
<p>1 思ったこと・感じたこと</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・明るい・暗い・楽しい・寂しい・かわいい</li> <li>・心が温まる・きれいな絵・すごい絵・ほっとする絵</li> <li>・変な絵・箱みたい・気持ち悪い・上手な絵</li> <li>・簡単そう・難しそう・なごむ</li> <li>・青色の部分が寂しい冷たい感じがする</li> <li>・いろんな場面があって不思議な感じ</li> <li>・人の心・作者の経験・心の窓</li> <li>・人のハートに訴えかける</li> <li>・ピカソ的な感じ</li> <li>・なぜハートがいっぱい描いてあるんだろう</li> <li>・暖かい感じもするけど寂しい感じもする</li> <li>・⑪天秤が釣り合っているのが不思議な感じ</li> <li>・ハートの形で人の心を表現している</li> <li>・⑮⑯ハートの吹き出しは何が言いたいのかな?ここから出たいと言いたいのかな?・</li> <li>・①③⑨⑭⑯閉じた部分は心を閉じていることを表している</li> <li>・一人の人のいろんな気持ちを表している</li> <li>・⑫一カ所だけ風景画なのが気になる</li> <li>・不安な気持ちを表している (⑫風景画が夜⑦人の体からハートの形が落ちている)</li> </ul> <p>2 分かったこと</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・細かい・障子の形・立体感がある</li> <li>・細かい所まで丁寧に書いてある</li> <li>・グラデーションを使っている</li> <li>・イラストっぽい絵・ブロックみたいな形</li> <li>・②⑥棒の部分がある・一つ一つの部屋に別れている</li> <li>・①③⑨⑭⑯閉まっている部分がある</li> <li>・⑮大きなハートがある</li> </ul> <p>3 作者の気持ちを想像する</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ハートがいっぱいあって、作者は幸せな気持ちだったんじゃないかな</li> <li>・作者はこの絵で何かを伝えたいと思っている</li> </ul> <p>4 その他</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・わかんない</li> </ul>	<p>1 友達の意見を聞いてさらに思ったこと</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・楽しい気持ちだけでなく悲しい気持ちもあるんだな</li> <li>・今までに経験したことを表している</li> <li>・何かの物語を表している</li> <li>・自分の体の中の部屋なんじゃないかな</li> <li>・⑦人の体からハートの形が落ちているという意見があったが、人の表情笑っているみたいに見える。落ちたハートを見つけて拾おうとしているから笑った表情に見える</li> </ul> <p>2 部分的に見る (どこが気になる?)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・①③⑨⑭⑯シャッター (閉じた部分) はこれから経験したことが後から付け加えられるんじゃないかな。シャッターの中には何があるのかな、ハートがあるのかな</li> <li>・②⑥⑩⑬光がつながっているのが不思議、部屋で別れているはずなのに。電球はコードや光で4つの部屋がつながっている</li> <li>・④作者に恋人がいるんじゃないか</li> <li>・⑩電球は受験勉強を思い出す。電球の光がなぜハートのマークなのか。電球は光で照らすことで幸せな気持ちを表現している電球の光の形が逆さまのハートになっているのにも意味があると思う</li> <li>・⑪天秤は結婚を意味し2人の気持ちが釣り合っている。はかりは、ハートの数が違っているのに、なぜ釣り合っているのかな。天秤は何か迷った時に心を釣り合わせること。天秤はなぜ白や透明な感じなのか</li> <li>・⑫風景の月をハート形にしているのは心を表現するためじゃないかな</li> <li>・⑮大きなハートはギョロツとしていてどこを見ているのか分からない、枠からはみ出している。大きなハートは自分の気持ちをはみ出している</li> </ul>